

校長通信 No.14

○命を救うための行動

～職員心肺蘇生法講習会～



7月2日(金)、丹波市消防本部から講師をお招きして職員的心肺蘇生法の講習会を行いました。(講師は本校の卒業生、陸上競技部の門内君でした。)

目の前に倒れた人がいたらどう行動するのか、素早い適切な行動が命を救います。救急車を要請しても学校に到着するには7～8分はかかるのが現状です。一刻も早

い対応が命を救うことは言うまでもありません。

もし、教室で生徒が倒れたら、グラウンドで生徒が倒れたら、どう行動するか。本校のAEDは、北体育館の玄関と保健室の外側、第2グラウンドにあります。職員は、「必ず命を救う」という意識で積極的に講習を行うことができました。倒れている人がいたら、「大丈夫ですか」と声をかけ動くことのできる、そんな生徒も育てたいですね。



○祈 健闘！

～ワングル、ソフトテニス 近畿大会壮行会～

7月7日(水)、期末考査の終了後に近畿大会の壮行会を放送で行いました。進行は、新生徒会役員が行いました。県総体で男女それぞれ2位となったワングル部、5位入賞の男子ソフトテニス部、コロナ禍で厳しい状況でしたが、見事近畿への切符をつかみ取りました。ワングルは、9月11日に大阪府熊取町、ソフトテニス部は7月18、19日に和歌山県白浜町で行われる近畿大会へ出場します。



また、あわせて西阪神地区吹奏楽コンクールに出場する吹奏楽部、夏の兵庫大会へ出場する野球部も激励しました。生徒会長の激励の言葉を受け、それぞれの部長は、感謝の言葉とともに大会へ向けての強い決意を誓っていました。最後に応援歌「おお柏高」を流して激励しました。教室からは温かい激励の拍手がありました。皆さんの健闘を祈ります。